

平成27年6月

平成27年	4月	～	6月期	実績
平成27年	7月	～	9月期	見通し

中小企業景況調査報告書

岩手県商工会連合会

主要景況項目の動き	2
業況天気図	3
全産業の推移	4
製造業の推移	7
建設業の推移	11
小売業の推移	15
サービス業の推移	19
全産業の過去データの推移 * 平成15年1月以降	23
[集計資料]	

D・Iとは

D・Iとは、ディフュージョン・インデックスの略です。これは、企業経営者の景気動向を表す指標として利用されています。

算出方法は、増加（上昇・好転）企業割合から減少（低下・悪化）企業割合を差し引いたものです。

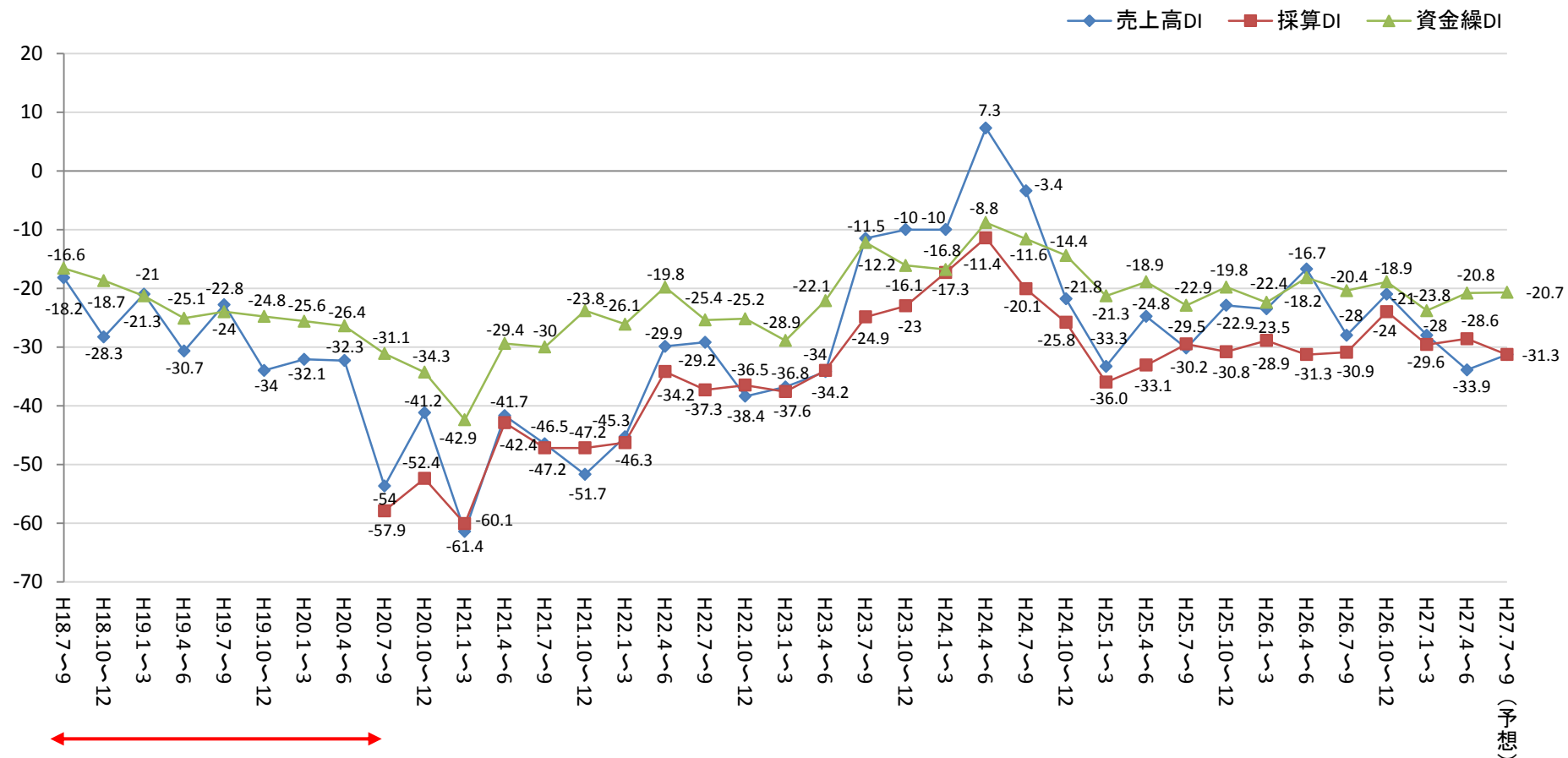
D・Iがプラスなら強気（楽観）、マイナスなら弱気（悲観）、原材料または商品の仕入単価の場合はプラスなら上昇気運、マイナスなら低下気運となります。

プラス、マイナス同数の場合はD・Iはゼロになります。

たとえば、売上高増加企業50%、不変企業30%、減少企業20%の場合、D・Iは $50 - 20 = 30$ となり、全体として経営者の売上高に対する強気の度合いを表しています。

[岩手県 産業全体]

主要景況項目の動き ー前年同期比ー



採算DIについては全国連にデータなし

業 況 天 気 図

業 種 \ 期 間	平成25年		平成26年		平成27年		(見通し)		
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
製 造 業	曇	薄曇	曇	薄曇	薄曇	曇	曇	雨	曇
建 設 業	晴	晴	快晴	快晴	薄曇	薄曇	曇	雨	雨
小 売 業	雨	雨	曇	雨	曇	雨	雨	雨	雨
サ ー ビ ス 業	曇	雨	雨	曇	曇	曇	曇	曇	曇

売上高DI	100.0 ~30.1	30.0 ~10.1	10.0 ~△10.0	△10.1 ~△30.0	△30.1 ~△100.0
表 示	快晴	晴	薄曇	曇	雨

全産業の推移

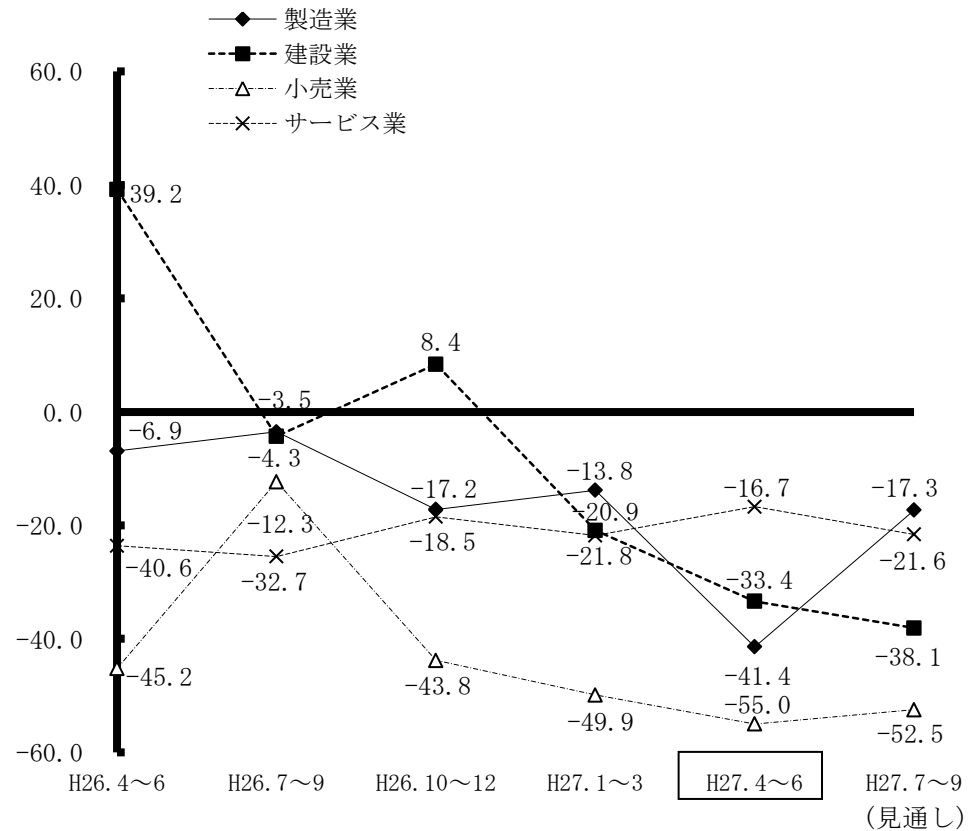
売上高

製造業が大幅に悪化

今期は、製造業が、27.6ポイント減少し、△41.4と大幅に悪化しました。

また、建設業においては、12.5ポイント減少の△33.4まで2期連続して減少し、小売業においては5.1ポイント減少して△55.0に悪化、サービス業においては、5.1ポイント上昇の△16.7に回復しました。

来期は、製造業において大幅な回復、小売業が小幅な回復、建設業、サービス業において悪化の見通しとなっています。



※建設業の売上高は完成工事高

全産業の推移

採算

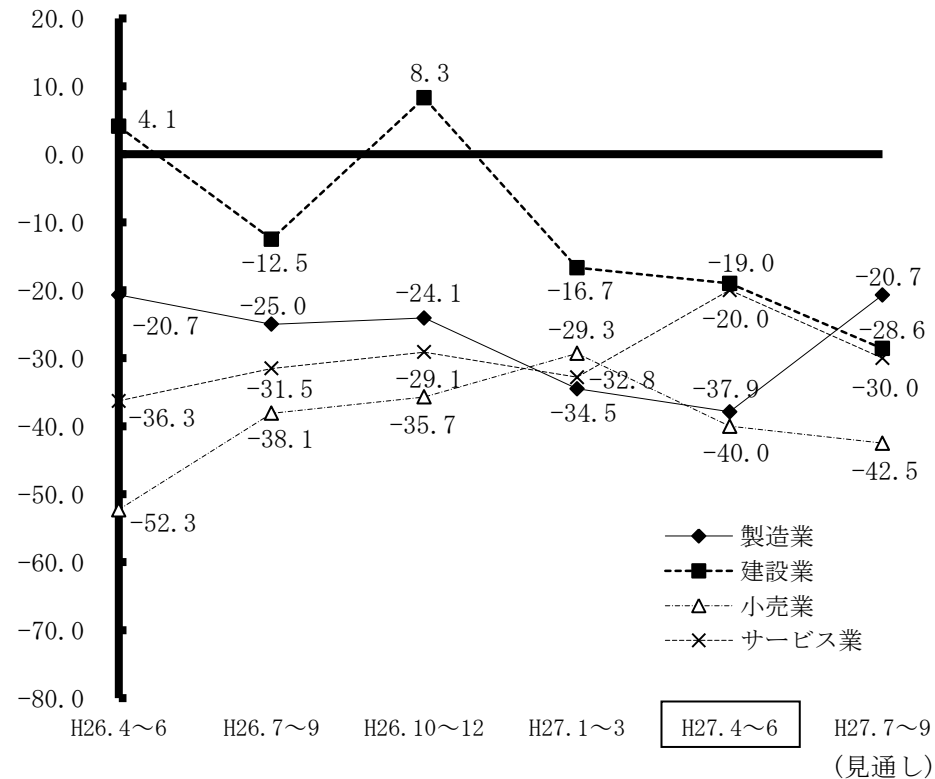
建設業、製造業の利益率が2期連続悪化

今期は、サービス業で、12.8ポイント改善しました。

建設業では2.3ポイントと僅かに減少し△19.0、製造業では3.4ポイント減少の△37.9、小売業では10.7ポイント減少の△40.0となりました。

来期は、製造業において、大幅な改善を見込んでいるものの、その他の業種では悪化となる見通しです。

※採算は各業種とも経常利益



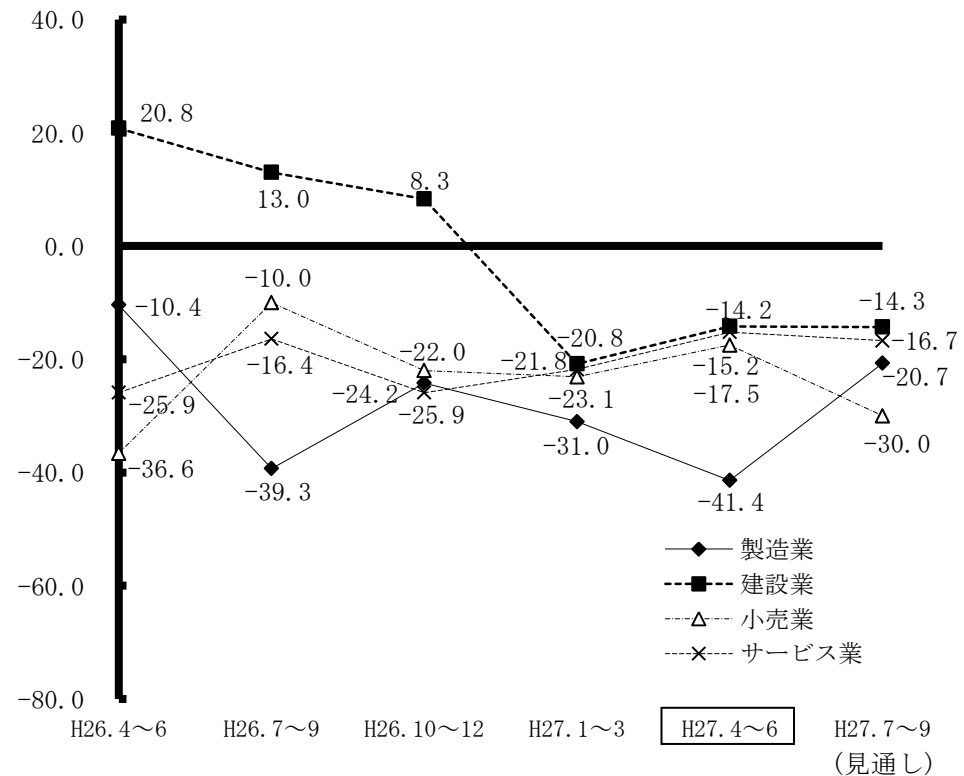
全産業の推移

資金繰り

製造業では引き続き資金繰りが悪化
その他の業種では、やや改善

今期は、製造業において、10.4ポイント減少し2期連続の減少となり△41.4、建設業においては6.6ポイント上昇し△14.2、サービス業では△15.2、小売業では△17.5と小幅に回復しました。

来期は、製造業で大幅に上昇するものの、小売業では大幅に悪化、建設業とサービス業でやや悪化となる見通しです。



売上高

<今 期>

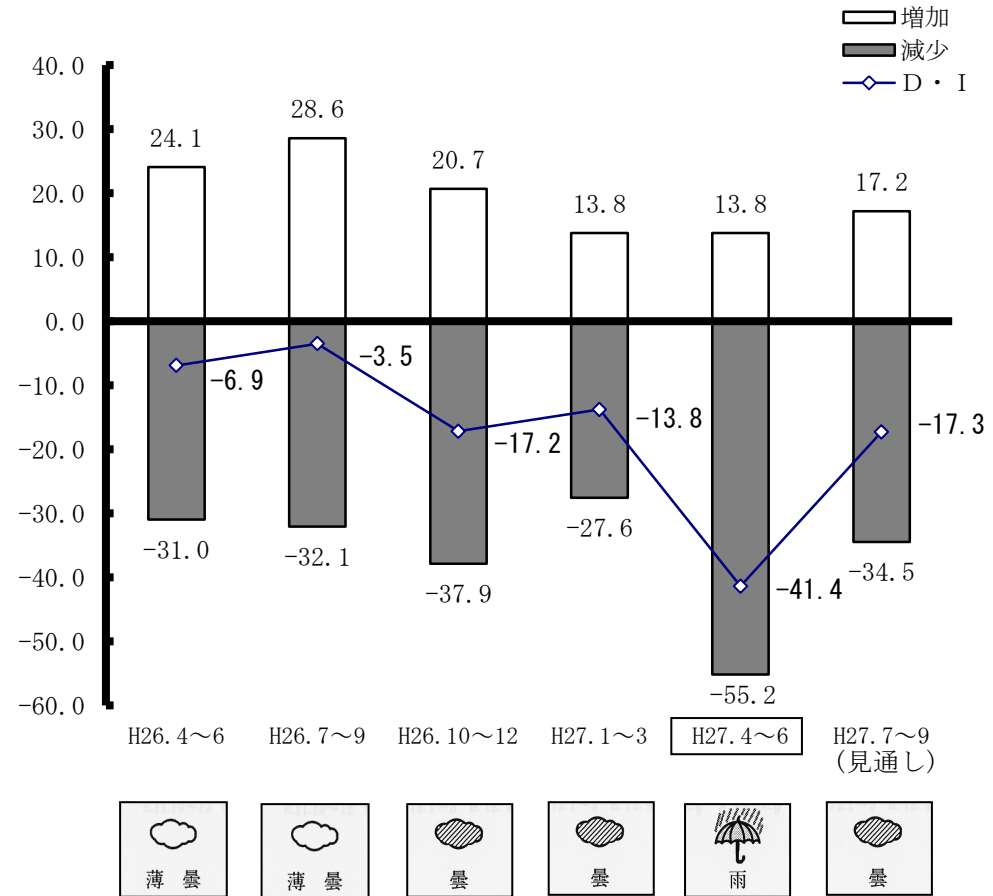


<来期見通し>



今期は、売上増加企業が横ばい、売上減少企業が大幅に増加しました。売上高D・Iは27.6ポイント減少の△41.4と大幅に悪化しました。

来期は、売上高の増加を予想する企業がやや上昇し、売上の減少を予想する企業が減少するため、売上高D・Iは△17.3と大幅に改善する見通しです。



製造業の推移

採算

<今 期>

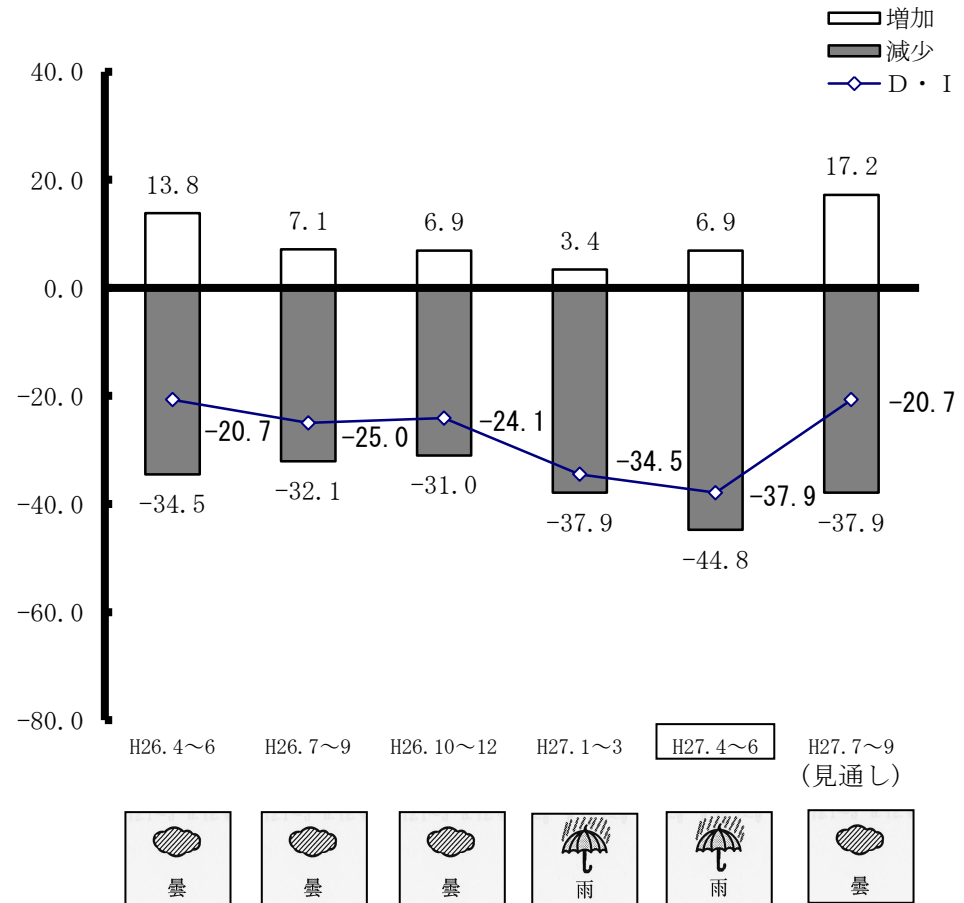


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業の割合が増加したものの、採算が悪化した企業の割合が小幅に増加したことから、採算D・Iは3.4ポイント減少し△37.9と悪化しました。

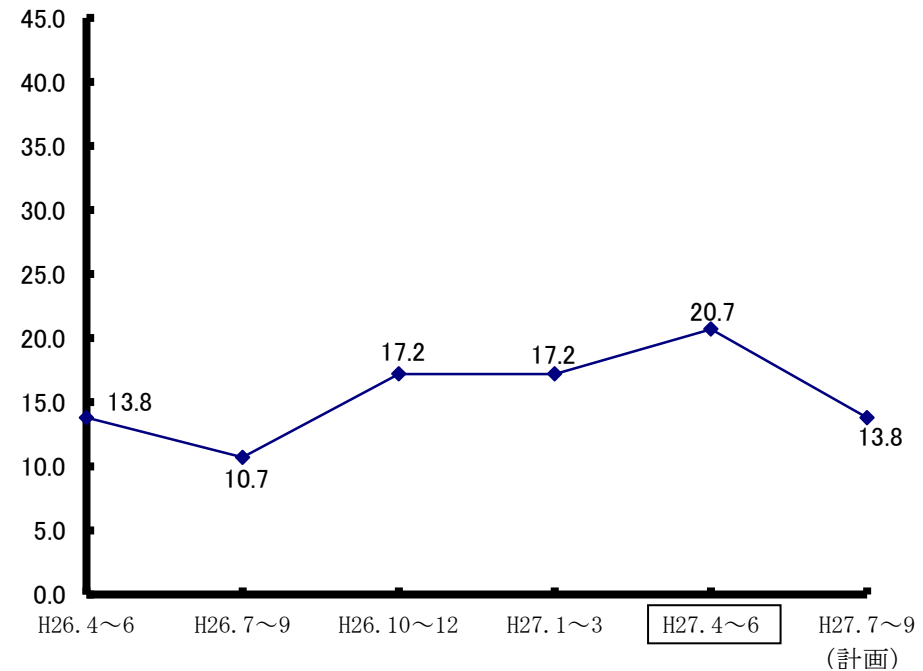
来期の採算D・Iは、採算の改善を予想する企業が大幅に増加し、採算が悪化すると挙げた企業が減少することから、採算が改善する見通しです。



設備投資

今期は、設備投資を行う企業は増加し、20.7でした。

来期は、売上、採算は改善が予想されるものの、設備投資は減少すると見込んでいます。



(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

経営上の問題点

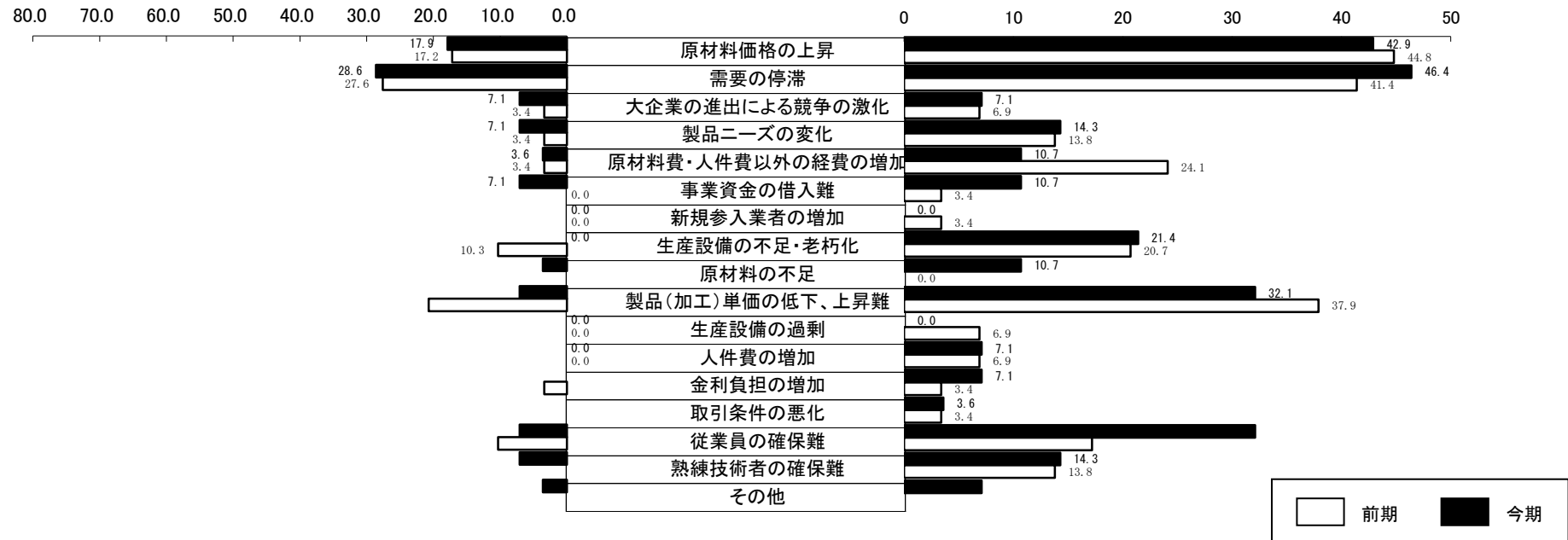
岩手県 製造業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

1位~3位の問題点

(目盛:%)



建設業の推移

売上高

<今 期>

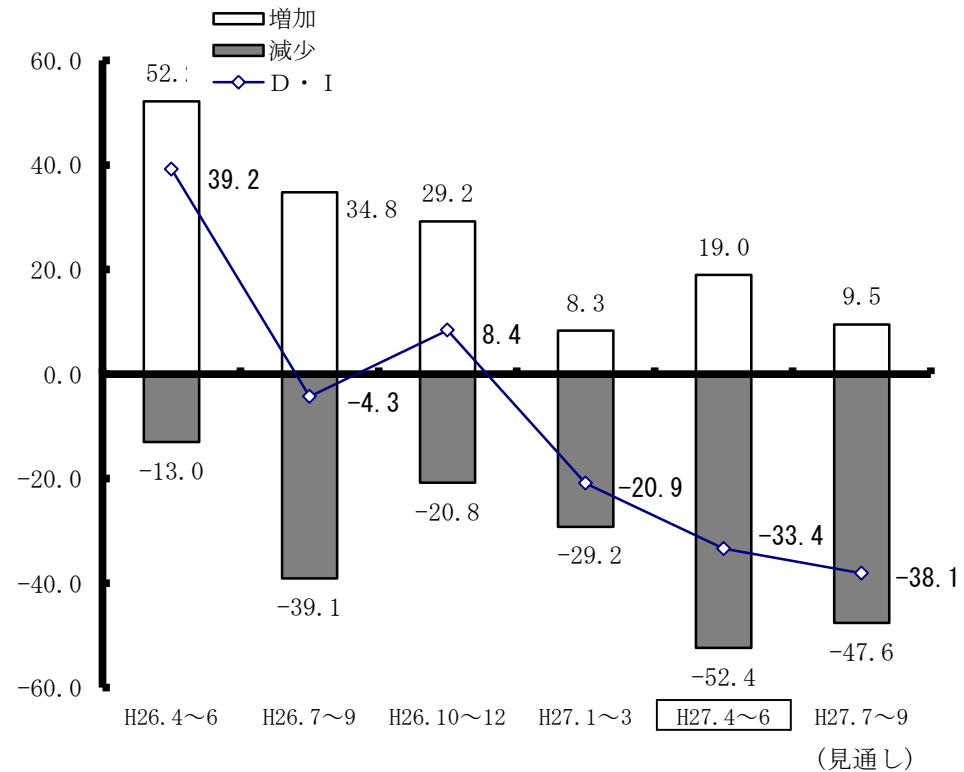


<来期見通し>



今期は、売上高の増加を挙げた企業の割合が大幅に増加したものの、売上高減少企業が大幅に増加したことから、売上高 D・I は 12.5 ポイント減少の $\Delta 33.4$ となりました。

来期は、売上高の増加を挙げた企業、減少を挙げた企業の割合がともに減少すると予想され、 $\Delta 38.1$ まで、やや悪化する見通しです。



※建設業の売上高は完成工事高

建設業の推移

採算

<今 期>

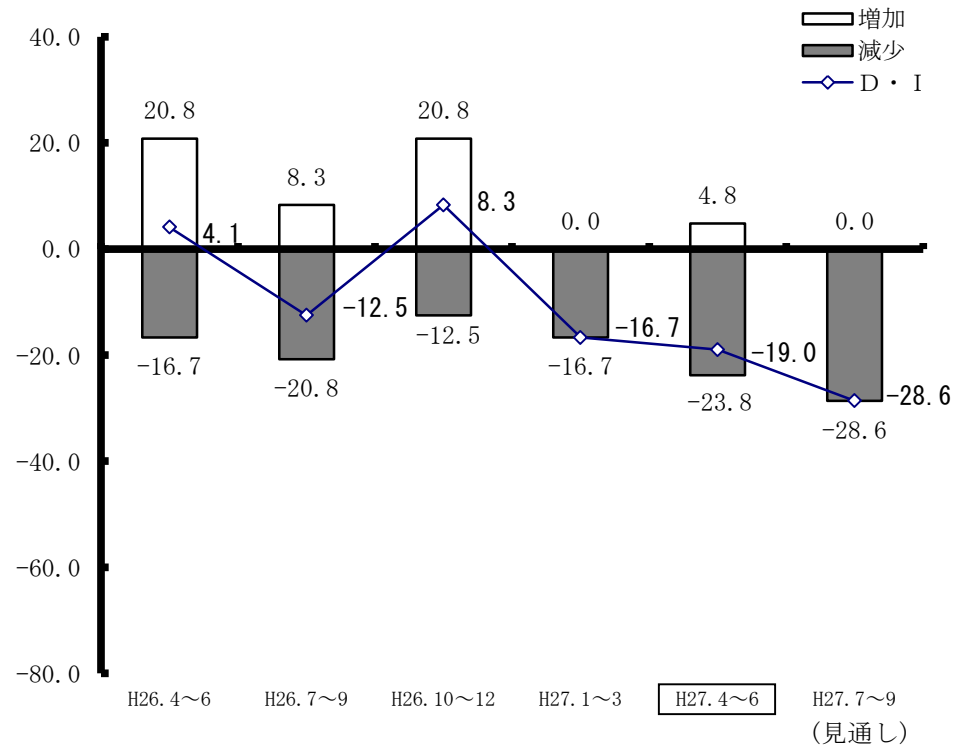


<来期見通し>



今期の採算D・Iは、採算好転を挙げた企業が4.8でしたが、採算が悪化した企業が引き続き増加したため、採算D・Iは2.3ポイント減少の△19.0と悪化しました。

来期は、さらに採算の悪化を予想する企業が増加することから、採算D・Iは、△28.6まで悪化する見通しです。



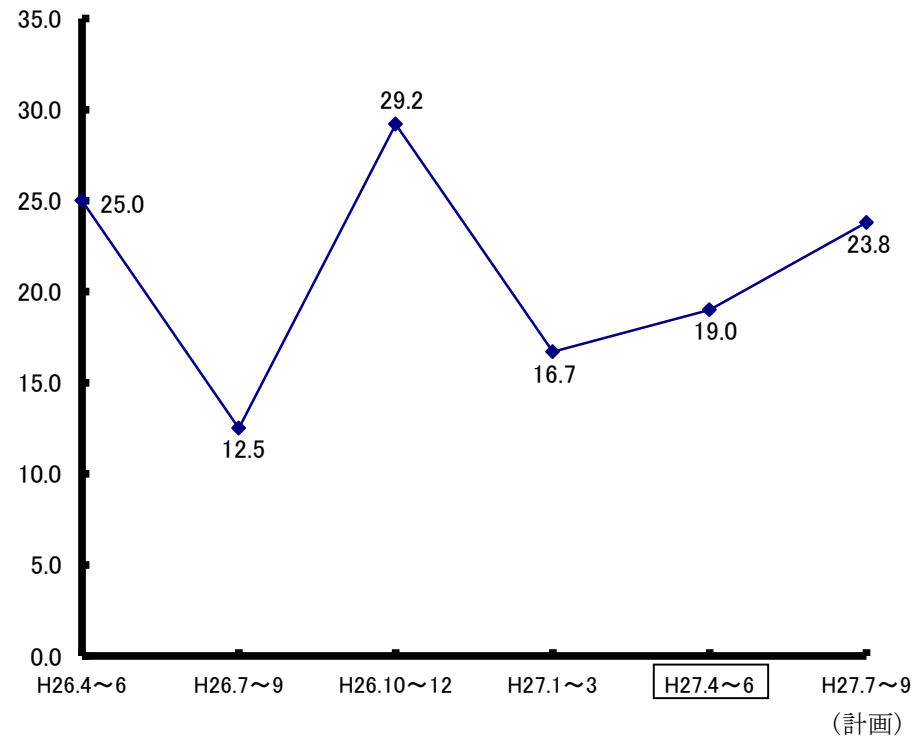
建設業の推移

設備投資

前期見通しのおおりに、設備投資を実施する企業は増加に転じました。

来期は、設備投資を予定する企業が引き続き増加し、23.8まで回復する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

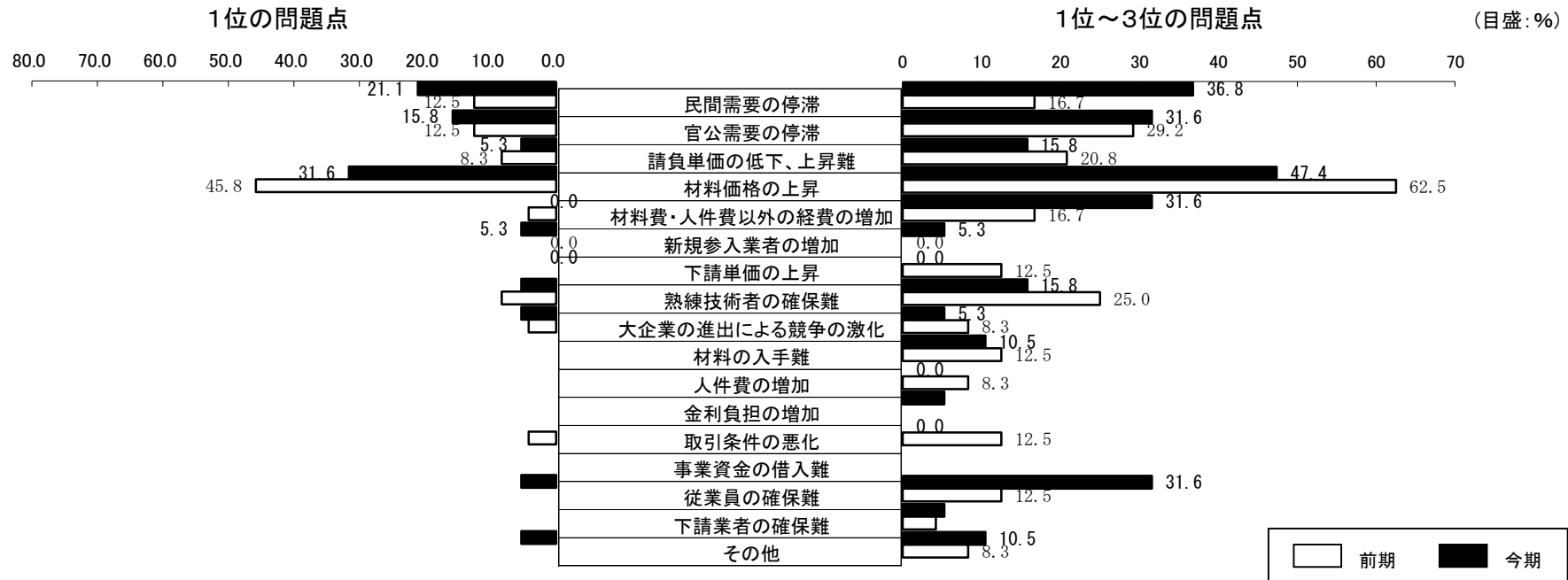


建設業の推移

経営上の問題点

岩手県 建設業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



小売業の推移

売上高

<今 期>

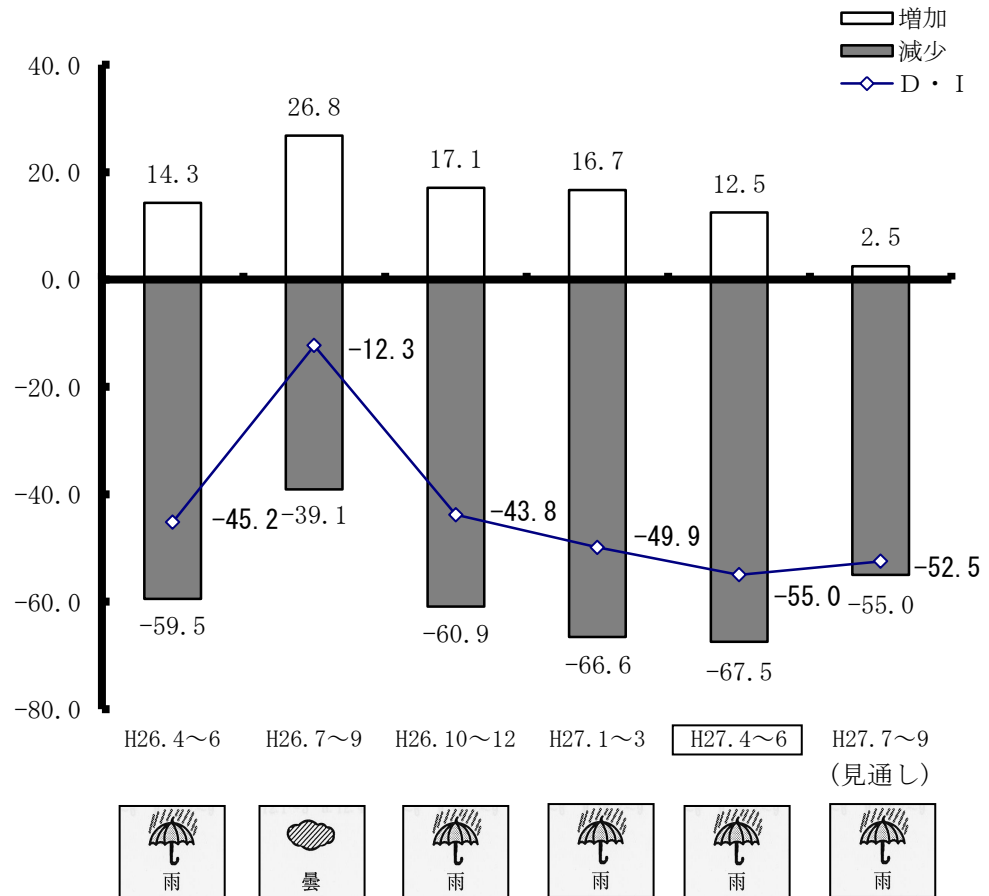


<来期見通し>



売上高増加企業がやや減少し、売上高減少企業がほぼ横ばいだったことから、売上高D・Iは5.1ポイント悪化の△55.0となり、天気図は雨のままです。

来期は、売上高増加を予想する企業が大幅に減少し、売上高減少を予想する企業も減少するため、売上高D・Iは、2.5ポイント上昇の△52.5となる見通しです。



小売業の推移

採算

<今 期>

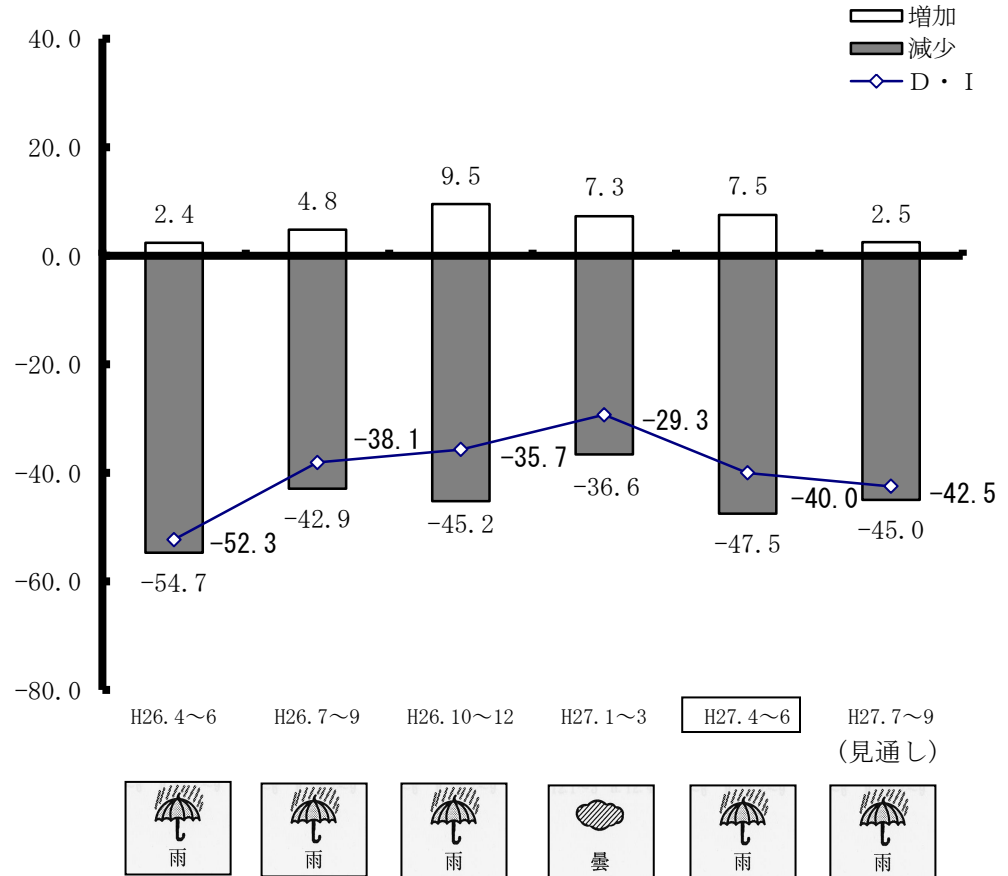


<来期見通し>



今期は、採算が好転した企業がほぼ横ばいだったものの、採算が悪化した企業が増加したため、採算D・Iは10.7ポイント減少し、△40.0となり、天気図は曇りから雨となりました。

来期は、採算の好転を予想する企業が減少し、採算D・Iは△42.5と厳しい見通しです。

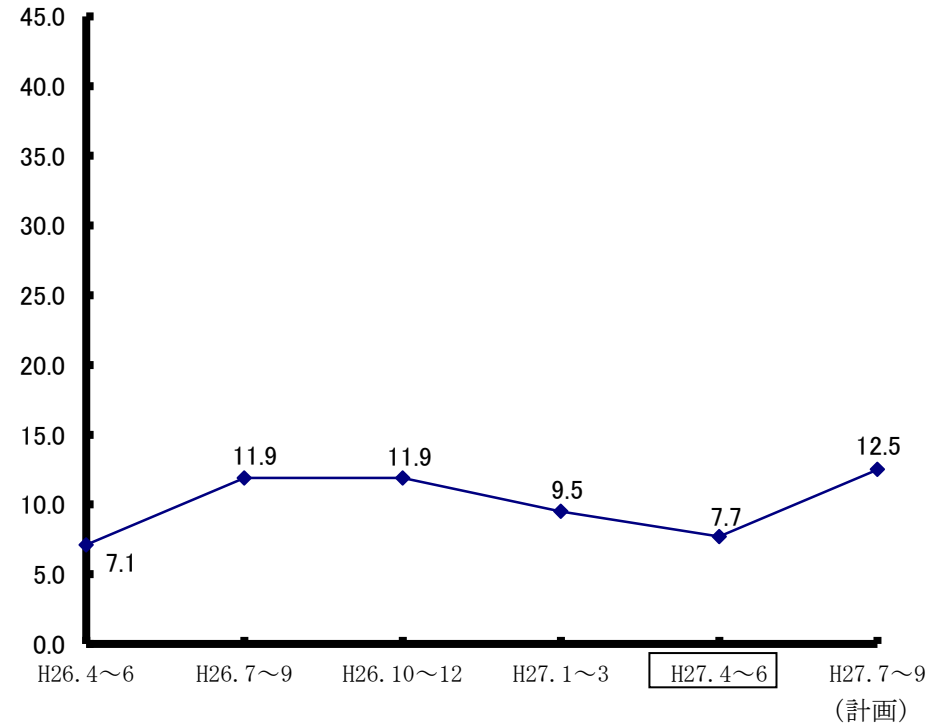


設 備 投 資

今期に、設備投資を実施した企業は、7.7と小幅な減少となり、低水準の維持となりました。

来期は、設備投資を計画している企業が4.8ポイント増加し、12.5まで回復すると見込んでいます。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。

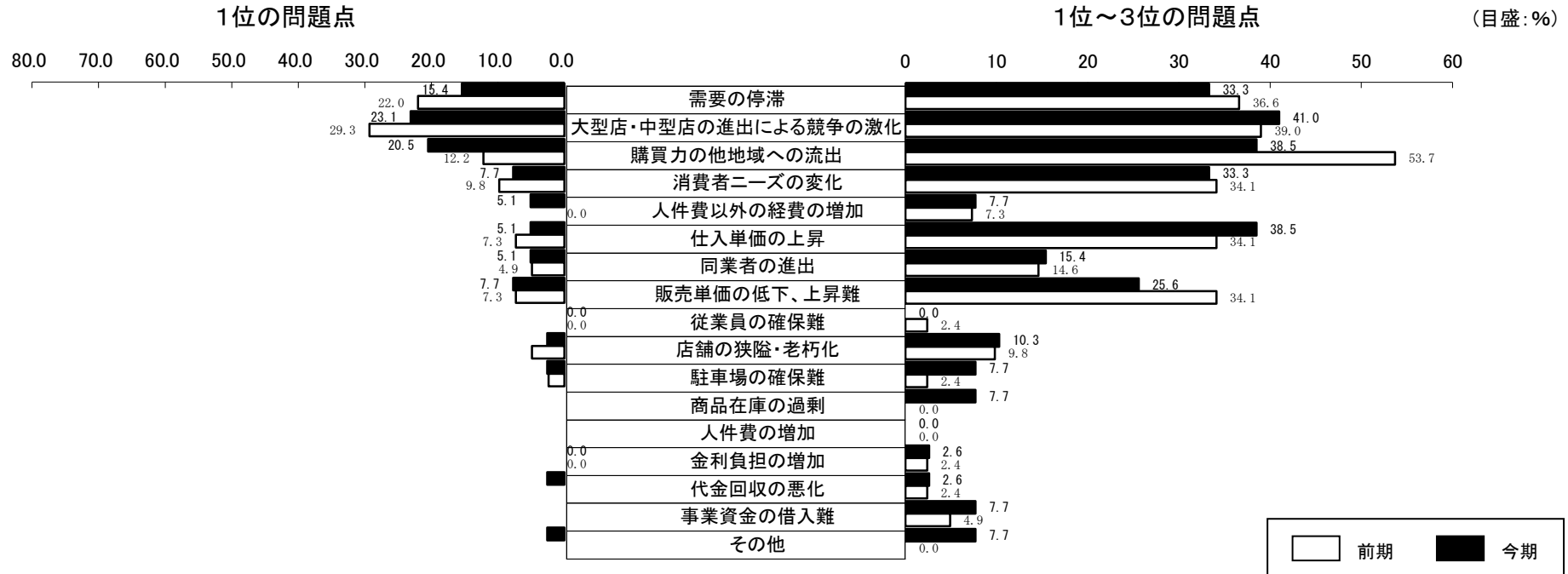


小売業の推移

経営上の問題点

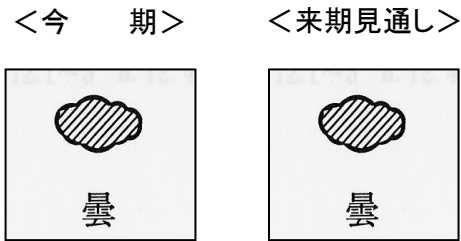
岩手県 小売業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)



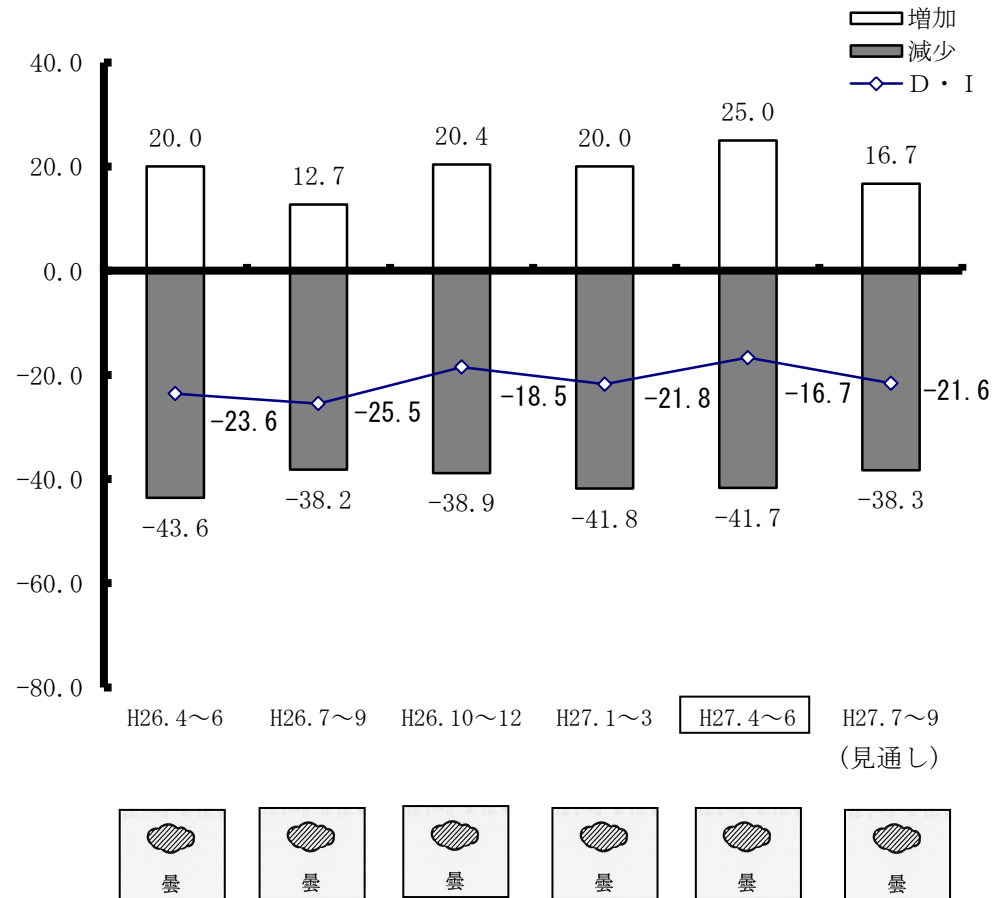
サービス業の推移

売上高



今期は、売上高減少企業は、ほぼ横ばいだったものの、売上高増加企業が5.0ポイント増加したため、売上高D・Iは、5.1ポイント上昇し、△16.7まで改善しました。

来期は、売上高増加を予想する企業が減少することから、売上高D・Iは△21.6まで悪化すると見込んでおります。



サービス業の推移

採算

<今 期>

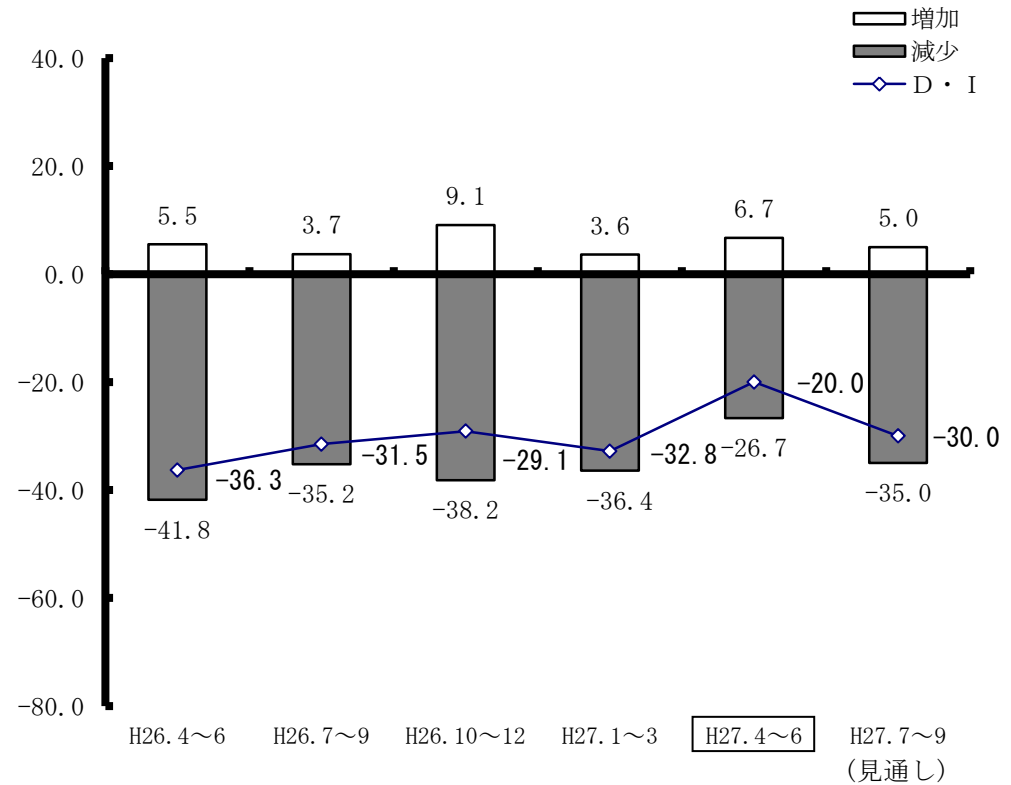


<来期見通し>



今期は、採算が改善した企業が増加し、採算悪化企業数が減少したことから、採算D・Iは12.8ポイント上昇し、△20.0まで回復し、天気図も雨から曇りとなりました。

来期は、採算の悪化を予想する企業が増加する見込みで、D・I値は△30.0へと悪化する見込みです。

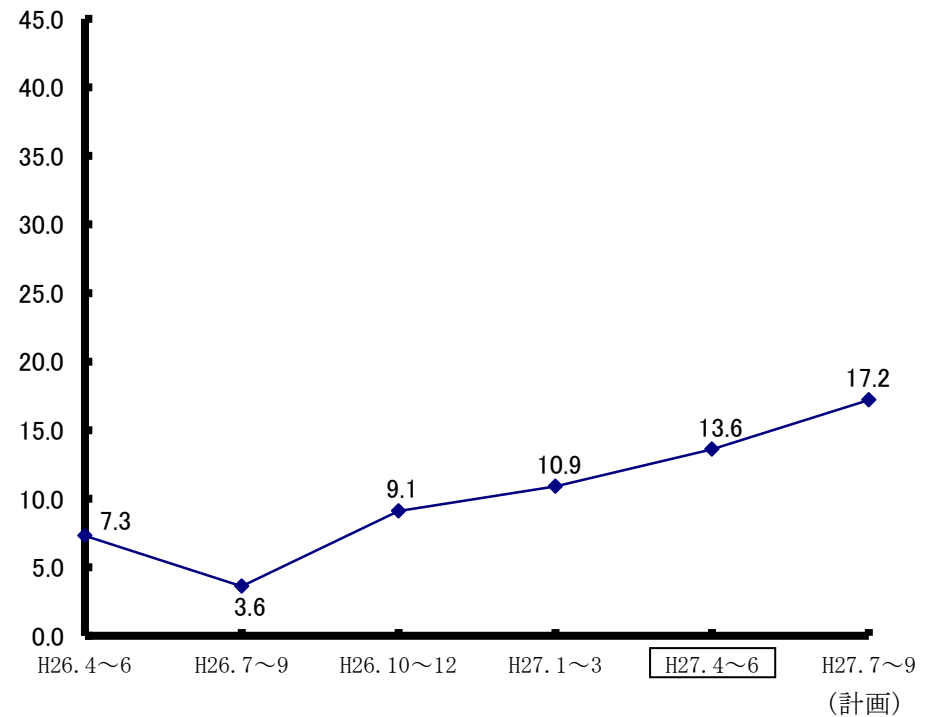


設備投資

今期は、設備投資を実施した企業は2.7ポイント増加の13.6となり、3期連続上昇となりました。

来期も、引き続き設備投資が見込まれ、17.2まで上昇する見通しです。

(注) この指標は、規模の大小にかかわらず、設備投資を実施した企業数の割合を示します。



サービス業の推移

経営上の問題点

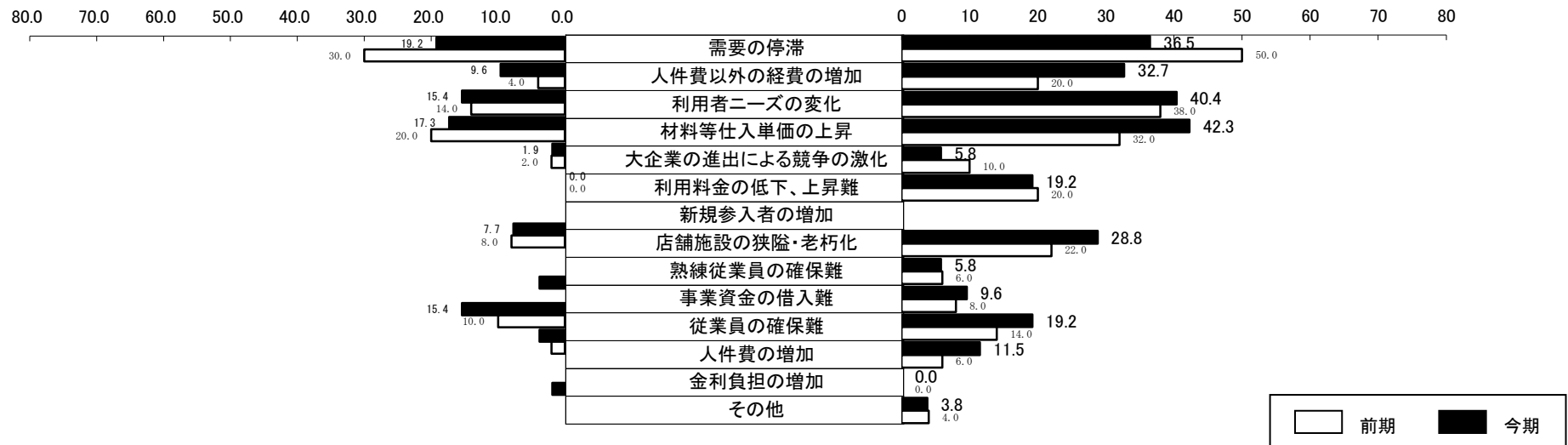
岩手県 サービス業

経営上の問題点の状況(1位と1位~3位)

1位の問題点

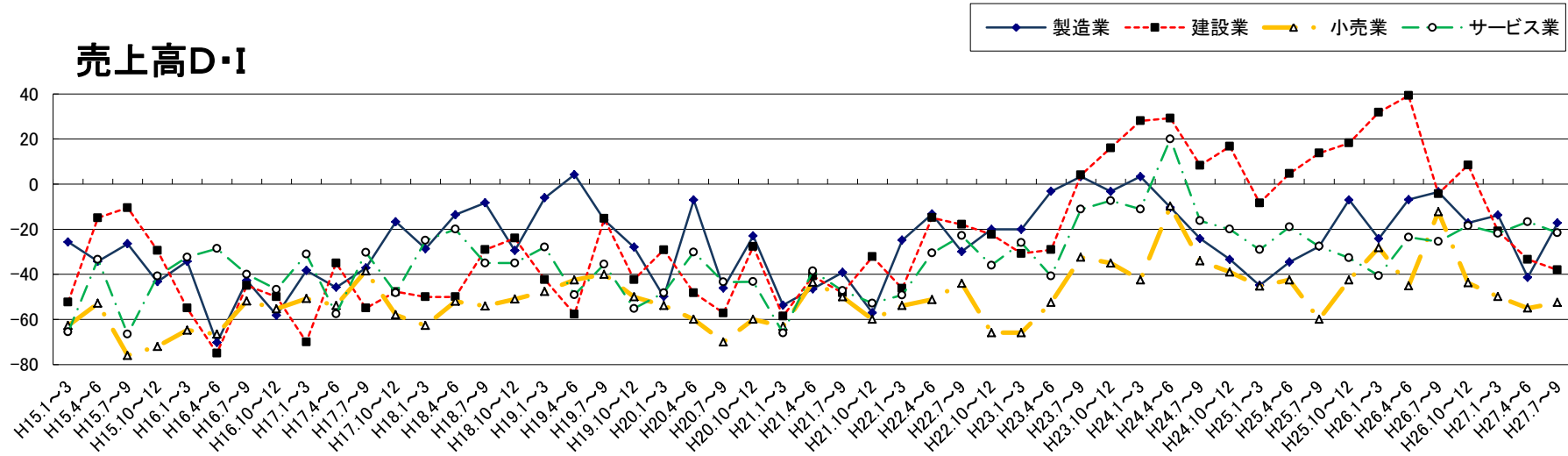
1位~3位の問題点

(目盛: %)

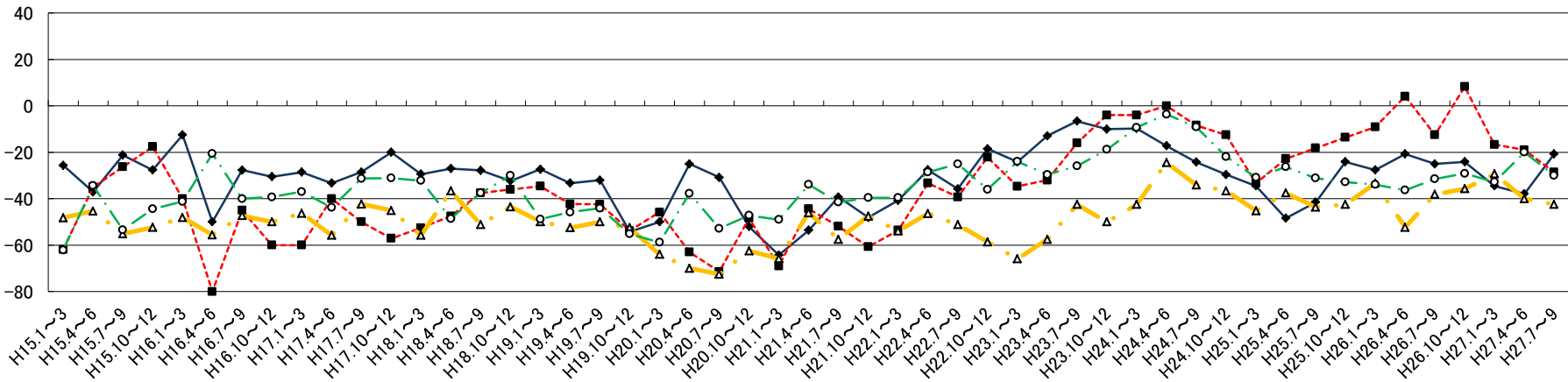


全産業の過去データの推移(平成15年1月以降)

売上高D・I



採算D・I



集 計 資 料

調 査 要 項

1. 調 査 対 象 (1) 対象地区 県内10商工会地区 遠野、陸前高田、二戸市、雫石、葛巻町
(商工会名) 紫波町、金ヶ崎町、岩泉、軽米町、野田村
- (2) 対象企業数 150 企業
- (3) 回答企業数 150 企業
2. 調 査 対 象 期 間 平成27年4月～6月を対象とし、調査時点は平成27年6月1日としました。
3. 調 査 方 法 (1) 商工会の経営指導員が訪問面接し、聞き取りにより行いました。
(2) 調査対象地区の設定は、商工会地区市町村人口規模別の実態を勘案して行い、調査対象事業の抽出は、業種規模等有意選出により行いました。

4. 対象企業等内訳

業種	項目	対 象 企 業 数	回 答 企 業 数	回 答 率 (%)
製造業 (地域産業)		29 (19.3)	29 (19.3)	100.0
建設業		21 (14.0)	21 (14.0)	100.0
小売業		40 (26.7)	40 (26.7)	100.0
サービス業		60 (40.0)	60 (40.0)	100.0
		150 (100.0)	150 (100.0)	100.0

(注) カッコ内の数字は、構成比 (%) を表す。

5. そ の 他 本報告書中のD・Iとは、ディフュージョン・インデックス (景気動向指数) の略で、各調査項目についての増加 (上昇、好転、長期化) 企業割合と減少 (低下、悪化、短期化) 企業割合の差を示すものであります。